

東商女性会3担当活動紹介と今後の活動方針

宝庫の扉を開けてより良い
経営指針の糧を



研修担当リーダー
松本 和子

東商女性会は真にお宝の山でございます。正副会長をはじめとする輝く経営者が多数ご在籍されていらっしゃいます。平成17年度の研修会は、齋藤朝子会長、山岡富美江常任理事、久家道子常任理事、岩宮陽子社長、山野敬子会員のご講演を賜り、諸先輩方の経営に関する貴重なお話を伺いすることができました。

全ての講師の方々から、それぞれ貴重な体験談や、様々な経験からつちかわれた経営への信念をうかがい知ることができ、参加者は改めて諸先輩の皆様に対する尊敬の念を再確認するとともに、何か一つでも経営

に関するヒントを得ることができたかと存じます。研修会は担当委員が議論に議論を重ね講師の選定から進行内容についてまで、じっくりと検討し実現の運びとなります。

今後の研修担当の活動としては、吉川稲美副会長、山崎登美子副会長、安間百合子副会長のご指導の下に、経営に関する問題を提起し、意見交換を行い、少しでも会員の皆様において立つ情報を提供していきたいと存じます。



会員参加型情報広報活動をめざして



情報・広報担当リーダー
石野 康子

昨年の秋より、600名会員を目指しての新たなパワーアップ事業が始められました。情報広報担当と致しましては全会員の皆様に的確な情報をタイムリーにお伝えすると共に、会員の皆様がホームページや『東商LADY』の誌面にご参加いただけるよう相互作用の働く活動を心がけております。又、女性会の存在を外部にアピールし会員増強に役立つ様な媒体作りを企画しております。その一歩として、年頭より2年ぶりにホームページをリニューアル致しました。ウェブ上からの行事・会議の申し込みを可能にし、多数の写真をご

覧頂けるアルバムのページも出来ました。トップページに多くの情報を盛り込み、外部からの検索にかかるよう工夫いたしました。特にセキュリティー面はより一層注意を払って参ります。『東商LADY』は会員の皆様にご参加頂ける記事を増やし、楽しんでお読み頂ける、自社PRにも役に立つ誌面を目指しております。現在はホームページ・『東商LADY』の2本立てで活動しておりますが、情報広報委員会発の新企画も実現できるよう努力して参ります。全て手作りの制作ですので、情報広報委員会に是非ご参加頂き、御協力、御指導を頂きますようお願い申し上げます。



交流の輪が
女性会の大きな輪に
なりますことを願って



交流担当リーダー
山口 玲子

東商女性会の大きな3つの担当事業の一つであります交流を担当させていただきます。早3年目を迎える事となりました。この間、交流担当のメンバーの方々と始めと致しまして、会員皆様に多大なご協力と励ましを頂戴いたしました事をまず御礼と共に心より感謝申し上げます。

昨年度には18代目中村勘三郎丈の歌舞伎座襲名披露公演で幕を開け、続けて10月にはホスピタリティ溢れる温かい心と情熱で患者の皆様の予防と治療にあたっていらっしゃる亀田メデイカルセンターを訪問し亀田院長のお話、そしてメデイカルセンター内見学と非常に貴重なひと時を過ごすことができました。また今年

の年明けには女性会最大のイベントの一つでございます新年懇親会を華やかな中にも盛大に開催させて頂きました事は、改めて女性会の皆様の素晴らしいパワーを拝見させて頂いた思いでいっぱいでございます。

この後も交流事業と致しまして、J R 東海リニアモーターカー試乗会、そして国会議事堂見学を予定致しております、今後も交流担当全員で知恵と力を集結させまして、会員皆様の交流、親睦のお役にたてますよう一生懸命に尽くさせて頂く所存でございます。今後とも皆様のご協力を頂戴出来ますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』
第1回実行委員会

平成17年11月21日(月)17時より東商ビルにて組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』第1回実行委員会が開催されました。本委員会は9月7日(水)のキックオフ&懇親会を受け、組織基盤強化活動の実行委員に就任した43名が参加し、これからの活動の方針について話し合いを行いました。実行委員会の始まりに際して齋藤朝子会長より「皆さん、経営者仲間の輪を広げるため、そしてよりよい女性会を築くため、600会員体制という目標を目指してがんばっていきましよう」という力強い挨拶がありました。続いて事務局より本活動の概要や目標会員数等について説明があり、担当副会長ごとのグループに分かれ、各グループのエリアリーダー・エリアサプリーダーの選任、勧誘方法、



活動方針等について話し合いが行われ「組織基盤強化活動の本格始動」を感じさせる活気溢れる会議となりました。

(記・相坂柚火子)

組織基盤強化活動『パワーアップ2005-07』 グループ担当副会長と担当エリア					
小林副会長	渡辺副会長	安間副会長	山野副会長	山崎副会長	吉川副会長
港区	世田谷区	新宿区	中央区	文京区	千代田区
品川区	渋谷区	豊島区	墨田区	台東区	荒川区
目黒区	中野区	板橋区	葛飾区	北区	江東区
大田区	杉並区	練馬区	江戸川区	足立区	



古紙問屋
株式会社 木場リサイクル
代表取締役社長 新井 英希氏

■業界では稀な女性経営者

木場リサイクルは江東区木場に位置しています。26年前社長であったご主人が亡くなられ、その後を継いで英希夫人が代表取締役に就任しました。関東圏には150社の古紙問屋がありますが、業界ではめずらしい女性経営者で、当時35才のときです。

■業務内容

古紙の回収には、住民が行う「集団回収」、行政の「資源回収」、新聞販売店の「新聞販売店回収」などがあります。それらの専門業者が回収して、持ち込まれた古紙を買い入れます。紙の種類ごとに手作業で選別し、品質確認後古紙梱包機（プレス機）で、品種ごとに100kgから120kg程度に圧縮し、番線で梱包します。梱包された古紙は品種に応じて製紙メーカーに納品します。

■企業理念

常に感謝の気持を持って、お客様が満足する高品質の品物を提供する。

■過当競争に勝つための工夫

いかにクオリティの高い品物をお客様に提供できるかが勝負。そのために、選別の研修・教育を徹底し、毎日終礼をかかさず、社員との報告会を行なっています。さらに毎年テーマを決め課題に取り組み、今年のテーマは「プレスした品物をいかに荷崩れなく製紙会社に運ぶか」です。また、回収業者には、自社を選んできたことに感謝し、接客を気持ちよく笑顔でスピーディに受け入れるよう心がけています。

■ペーパーレス時代の影響と

海外との関わり

ペーパーレス時代と言われ、OA化が進み紙の使用量が減少するかと思われていましたが、雑誌、DM、折込チラシ、通信販売用の本、パソコンなどのマニュアル本、FAX・コピー用紙など、逆に使用量が急増しているそうです。古紙はほとんど

国内のメーカーを中心としていますが、経済の発展が目覚ましいにもかかわらず、古紙が不足している中国や東南アジアの国々へ、日本から年間約200万t以上を輸出しています。

■リサイクルに望むこと

家庭や事業所から出される古紙は、異なった種類の古紙を混ぜないよう心がけてほしい。異物混入によってせっかくの資源が、ただのゴミとなってしまうので、出す側の一人ひとりが自治体の指示に従ってルールを守ってほしい。古紙製品は特に安いというわけではなく、いので、できるだけ古紙製品の購入が増加すれば低価格で消費者の方も買いやすくなる筈です。



■社会貢献

修学旅行で来た中学生などの見学を受け入れたり、職場体験学習など

の実習を行い、学生には古紙回収率や利用率の変化などの説明後、選別作業の実習を行います。実習を終えた生徒たちから、



「資源ごみの出し方に気をつけるようになった」、「エコマークの商品を買うようになった」などのお礼の手紙が送られて来るそうです。少しでも古紙リサイクルのことを理解してもらえればと考えているとのこと。また、ISOを取得するための企業リサイクルの指導に向くこともあるそうです。

■後継者について

30代のご長男は、現在大手メーカーに勤務。どうしても後継者にといいこうだわりは持っていないとのこと。本人が望めば社会経験を積んでから後継者にと考えているそうです。（記・大津洋子 写真・石野康子）



製造業
株式会社 フジ
代表取締役社長 阿部 千恵子氏

■業界では稀な女性経営者■

1968年創業のフジは、中浦和でダンボールや箱などの包装用資材の販売会社でした。たまたま隣接の接着材メーカーのコンシから、木工用ボンドの充填の依頼があり、充填加工業を開始し、現在に至っています。15年前社長であったご主人が亡くなられ、当時専業主婦だった千恵子氏が後任の社長に就任しました。その頃は女性社長ということで苦労も多々あったが、社員や周囲の方の協力で業務を拡大し、現在ではコンシ協力会社の会(ボンド協栄会)の副会長を務め、手広く活躍されています。

■企業理念■

創意工夫でお客様第一主義を徹底。

■業務内容■

赤いキャップに黄色のボディでお

馴染みの木工用ボンド、これはコンシのブランドで、コンシのパートナーとして、フジが充填し商品化しています。数十年前コンシから依頼を受けて以来、木工用、金属用、ゴム用プラスチック用等、今では100種類以上の接着材を商品化。

本社は渋谷区松涛にあり、製造工場は中浦和に自社工場を構えています。



■商品の企画開発■

信頼の高いコンシ製の接着剤を、安全で使いやすい容器に納める充填技術や、商品力を高めるためのパッケージ作りは、時代とともに高度化・高質化が求められているそうです。フジはさらに使いやすさを追求し、研究と創意工夫を重ねてきました。

また、PRのために阿部社長自身のアイデアで、木工用ボンドのミニチュアストラップを造り上げました。さまざまな形の粘土をフライパンで焼いて煙で煙探知機が作動し、大騒

ぎになったこともある苦心作です。これでコンシからは社長賞を授与されました。今後は自社ブランドで海外進出を考えているとのこと。

■品質管理■

コンシは「品質第一」が信条で、フジでも社内ではビデオ学習や実習を行い、「報・連・相」で情報の共有化を図っています。品質の確保のため同じ敷地内のコンシからパイプラインを通して送られてくる原料を、常に一定の温度を保つようコンピユータで24時間管理をし、そうした努力でコンシのQC賞を毎年受賞されています。



■社会貢献■

さいたま市の小学校3年生の社会科の教科書には「接着剤ができるまで」が紹介されています。フジ工場では見学者の安全を考え見学通路を

設け、年間1000名ほど訪れる地域の小学生を受け入れているとのこと。子供たちからはお礼の作文集などが送られて来ます。



■後継者について■

前社長が亡くなられた時、アメリカに留学していたご長男が帰国後3年ほどコンシに勤務されたのち、フジに入社しました。現在専務として中浦和の工場を全面的にまかされ、阿部社長の右腕となって活躍。後継者としても期待されています。今回の取材にあたり協力していただきました。

(写真/記・大津洋子)

ぶらり東京の旅

「千鳥が淵のさくら」



在位60年記念で植えられた約20年位の比較的若い桜です。北の丸の正門から千鳥が淵の桜のトンネルは100年以上経っているように見えますが昭和30年に植えられたそうです。桜の寿命は約60年という事ですが、悪い所を切るとそこから新しい芽が出てきてさらに60年、120年となるそうです。季節になり千鳥が淵から反対側の土手を見ると緑の草花、松の木、水に映った桜、それはすばらしいパノラマです。

今回は皆さんのよくご存知の「千鳥が淵のさくら」を訪ねてみました。明治31年に英国の駐在公使アーネスト・サトウ氏により千鳥が淵の所にある英国大使館前に5本の「ソメイヨシノ」が植えられました。

その後、大正8年12月に東京市(現東京都)に数百本寄付されたといわれ、千鳥が淵から周囲へと広がっていったともいわれています。地下鉄半蔵門線・東西線九段下から徒歩3分ほどのところが牛が淵周辺。こちらの土手に植えられているソメイヨシノは、昭和天皇御

ここは、皇居の北側に位置する公園でこの辺一体はガーデン道路になっています。九段坂から内堀の方を見ると、千鳥が淵を広がった形に似ているという事で千鳥が淵と名前がついたとか・・・？桜の本数は千鳥が淵ルートで約1082本。今回の取材で千代田区役所の公園管理課の方達が、大切に桜の管理をされているお話を聞きとても感謝しました。皆さんもそんな桜の歴史を浮かべながら、今年の千鳥が淵を散策されてはいかがでしょう！

(記・保田和江)

第7回「ゴルフ同好会」コンペ



10月14日(金)千葉県「グレートアイランド倶楽部」で24名の参加で行われました。前日まで大雨でしたが、当日はすばらしい晴天に恵まれました。伊藤園レディーストーナメントの行われる美しいコースでのプレーは最高のゴルフ大会でした。今回は東京駅から貸し切りバスを用意し、24名の参加となりましたが、ゴルフ場との往復の時間はまるでバス旅行のよう楽しい時間でした。グレートアイランド倶楽部は伊藤園様のゴルフ場で、大変お世話になり、沢山の賞品をご寄付頂きました。終了後のパーティーでは、成績発表、表彰式等を行い懇親を深めました。優勝は山本晴留巳さん、準優勝は初参加の今野由梨さん、3位は同じく初参加の松平洋史子さんでした。

同好会会員も現在52名となり、これからも益々楽しい同好会となるよう皆さんのご協力宜しくお願いします。

(記・保田和江)

くらぶ倶楽部同好会 例会



9月28日開催
 ↳ エスニック料理をつくる
 西麻布のキッチンスタジオで、会員自身が料理を作る新しい試み。エプロン姿でキッチンに立つメンバーの姿は新鮮です。安間副会長ご提供の多種のスパイスを使い、見事に短時間で豆カレー、ハヤシライス、サラダ2種、デザート、カナッペなど数々の料理がテーブルに並びました。食事は普段聞かれない料理談義に話が弾み、楽しい一夜となりました。

(記・石野康子)

2月19日・20日開催
 ↳ 美術と音楽、温泉を堪能
 初日は真鶴半島で漁師料理を味わい、中川一政美術館で純真無垢かつダイナミックな絵画を鑑賞。その後、奥湯河原へ。齋藤朝子会長より「つばきの歴史と品種、逸話など、海石榴の由来ほか」講演を拝聴。夕食と懇親会。会員のピアノ弾き語りなど、至極の時間を。翌朝は朝食後に解散。初めての1泊例会。食事・美術・音楽そして講演と盛沢山の例会でした。

(記・佐原泰子)

■メディアに登場■

関南淑会員●『自然医学』（平成17年10月号）に「キムチに託した日韓交流への想い」が掲載されました。

水上響子会員●テレビ朝日『ドスペー』（平成17年10月29日放映）の三大死因病特集で、医療法人社団赤坂パークビル脳神経外科が取り上げられました。

奥山睦会員●NHK『くらしと経済』（平成17年11月12日）の「自宅で手軽に！パソコン内職大研究」と東京メトロポリタンテレビ「東京の10年 産業の空洞化、その後」（平成17年12月6日放映）にコメントーターとして出演されました。●『週刊ダイヤモンド』（平成17年12月24日号）に著書「メイド・イン・大田区」が「2005年ベスト経済書」の第21位に選ばれました。

小林栄子会員●『朝日新聞』（平成17年11月24日）に（株）東京信友による聴覚障害者のための商品開発への取り組みが紹介されました。

星野君枝会員●『婦人画報』（平成17年12月号）に「工芸ギャラリー邁」による企画展「小泉貞子 和刺繍展」が紹介されました。

北澤艶子会員●『中小企業ニュース』（平成18年1月20日）に「愛する母への感謝状」（かんき出版）への寄稿に関する記事が紹介されました。

吉川稲美副会長●『労働新聞』（平成18年1月30日号）にコラム「ぶれい考」が掲載されました。●『いっとじゅけん』（平成18年1月号）に、関東経済産業局長の高橋氏、北極しろくま堂の園田氏、との三者座談会が掲載されました。

相坂柚火子会員●『静岡新聞』（平成18年2月20日）の「インタビュー」コーナーで会社の設立から現在の仕事の取り組みについてインタビューを受け、その内容が紹介されました。

木村久理子会員●『美生活』（平成18年3月号）に「銀座コクリコ美容外科」が取り上げられました。

出る杭になって打たれてみたい
スマールオフィス

山野井 友子

川柳
俳句

菜の花がいまいっぱいと祖母逝けり
陽だまりに透けてゆれるは黄水仙

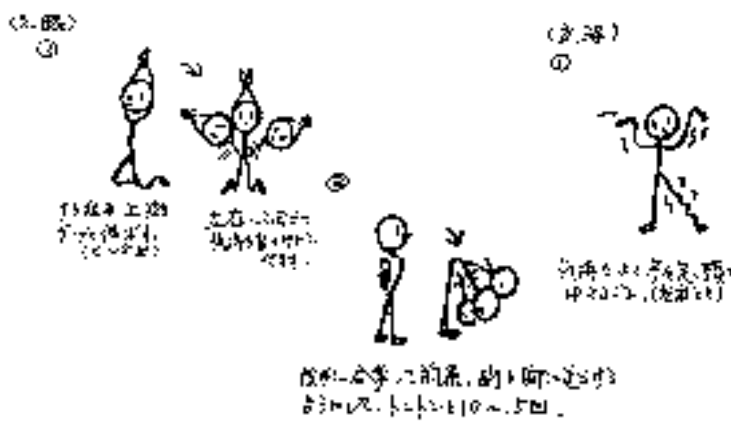
山崎 登美子

安井 啓子

春の健康

（NPO）「氣道」
井上象英

美味しい空気を思っきり吸ってゆつくり吐き、お水をたっぷり飲むと宜しいです。



訃報（ご冥福をお祈り申し上げます）

● 窪寺千鶴子様
（有限会社よろづ取締役）が平成17年10月12日にご逝去されました。（享年81歳）

● 瀧原美和子様
（株式会社アマンド代表取締役社長）が平成17年12月16日にご逝去されました。（享年68歳）

東商女性会の今後の主な行事予定

- 平成18年
- 4月14日（金）
東商園遊会
- 4月18日（火）
関東商工会議所女性会連合会総会（甲府大会）
於 甲府富士屋ホテル
- 4月25日（火）
平成18年度 第1回研修会
於 東商ビル
- 6月13日（火）
東商女性会 会員総会
於 東商ビル

編集後記

近年にない厳しい冬を乗り越えようやうく花の季節を迎えました。
2002年10月創刊されました東商LADYも、第10号記念号を発刊する運びとなりました。女性会発足以来57年にわたり広報活動に係わられた方々の足跡を省みて、あらためてその歴史の重みと、後世に残る記録を作り上げていく責任の重さを痛感しております。

情報・広報委員一同、より一層パワーアップして次世代につなげて行きたいと存じます。（情報・広報担当リーダー石野康子）

情報・広報担当一覧（敬称略・順不同）

- 副会長：山崎登美子 / 山野壽子 / 渡辺光子
 - リーダー：石野康子
 - 井上象英 / 八木美重子 / 五十嵐容子 / 藤沢薫 / 安井啓子 / 相坂柚火子 / 阿部千恵子 / 志摩淑子 / 西尾多恵子 / 保田和江 / 美安達子 / 浅野邦子 / 伊藤淳子 / 大津洋子 / 奥永久美 / 奥山睦 / 金原好紀 / 神田妙子 / 佐藤俊江 / 佐原泰子 / 鈴木紀子 / 田中絢子 / 竹華静 / 椿克美 / 長谷川泰子 / 林和恵 / 松平洋史子 / 水上郷子 / 宮田真知子
- （平成18年3月末日現在）